

木造ラーメン接着工法

AK レジン 500 (AK500)



特許名称：充填材およびその充填確認方法
登録番号：5438307

特許名称：建築用木材の接合方法およびその解体・再利用方法
登録番号：5641710

AK レジン 500 は、木造の柱と梁の接合部に鉄筋を挿入し、挿入孔の隙間に充填して硬化させることで、ラーメン架構を構成することができます。

鉄筋拘束接合構法（TKS 構法）として、多くの実績を積んでいます。

学校や共同住宅、商業施設、事務所等の大規模建築物への採用も可能です。

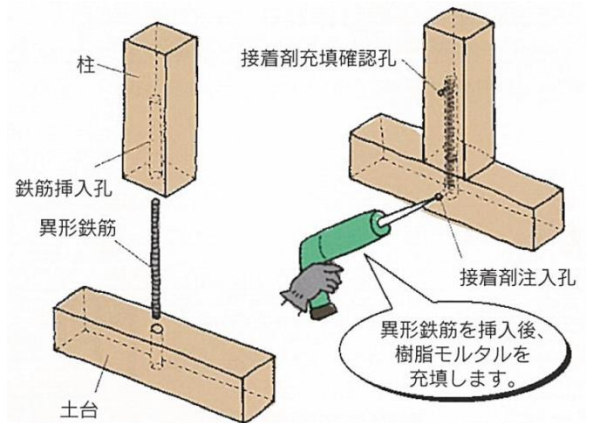
特徴

- 木材と金属双方に高い接着性能を示します。
- ホルムアルデヒドは一切発生しません。シックハウス対策に掛かる規制を受けることなく用いることができます。
- 造影剤を配合させたことにより、レントゲン撮影ができ、後からチェックをすることができます。
- 低い粘度でノンスランプなため、上向きや横向きの充填作業が容易に施工できます。
- 主剤・硬化剤の配合ミスや混合不良がなく、使用量のみ混合するため材料ロスがありません。
- 木材に開けた穴や溝に鉄筋を挿入し、レジンモルタルを充填して硬化させることにより、木材同士を接合します。

製品構成

| | |
|---|--|
| ・樹脂カートリッジ 960ml  (主剤:640ml、硬化剤:320ml) | ・エアガン  |
| ・スタテックミキサー  | ・ハンドガン (小規模作業の場合使用)  |

施工方法



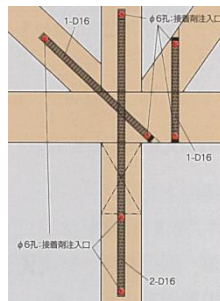
TKS 構法の特徴

- 金物が露出しないため、意匠性に優れています。
- 万一の火災時にも接合部の耐力低下ありません。
- 金物に生じる結露によって、木材や金物が腐食する恐れがありません。
- ジョイント部に施工後のゆるみやズレが生じません。

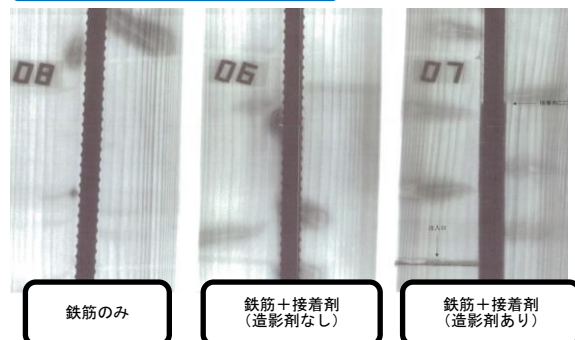
充填状況



接合部詳細



レントゲン撮影 (特許取得)



接合状況



柱脚接合部



梁接合部



柱・梁接合部



全体架構



鉄筋挿入孔